

1人1台端末の活用による実践事例 (小・中学校用)

学校名	奈義町立奈義小学校	実践者名	小西 啓太
教科	国語	学年	第4学年
活用内容	アンケート 意見交流	実践日	令和3年9月17日
		授業活用段階 (岡山県版)	Stage2
単元・内容等	「ごんぎつね」・意味調べ		

活用の概要 (目的・活用場面・使用アプリ名を含む)

【本時】

(1) 本時のめあてをつかむ

めあて 協力して「みんなの意味調べ」を作ろう。

(2) グループで、分からない言葉と、分担する言葉を決める。

(3) 国語辞典を使って意味を調べ、本文にふさわしい意味を選択する。

(4) 調べた言葉、場面、ページ数、行数、意味について Forms で入力する。

(5) 入力されたをスプレッドシートを全体で確認する。

【次時】

・本時で作成した「みんなの意味調べ」をノートに貼る。



名前・
回答を入力

場面・
 1
 2
 3
 4
 5
 6

ページ数・
 13
 14
 15



タイムスタンプ	名前	場面	ページ数	調べた言葉	意味	行数
20210916 18:39:29		2	2.0	お母さん	川のそばで眠れてくまきり	1
20210917 11:09:46		1	1.5	川上	紅葉で、人にお金を奪	1
20210917 11:11:30		5	2.7	雪む	運のわりき 運の味とり	11
20210917 11:11:48		3	2.1	運向	運のわりき 運の味とり	11
20210917 11:12:14		5	2.7	引き合う	運のわりき 運の味とり	8
20210917 11:12:22		1	1.5	きす	体は細長く、背中が、運	8
20210917 11:12:27		3	2.1	去きのかい	新しい、半輪さ	5
20210917 11:12:30		2	1.6	穴地蔵	縁起や運はたなど、穴	14
20210917 11:12:36		6	2.8	なや	物をしまっておくための	6
20210917 11:13:45		1	1.3	このとき	江戸時代に大なる運本な	4
20210917 11:13:52		6	2.8	土製	運の中で、ゆかを運らず	13
20210917 11:14:39		6	2.8	戸口	運の出入り口。	9
20210917 11:15:51		7	1.7	運地蔵	運なことを助けてきたさ。	8
20210917 11:16:39		5	2.5	木鳥	次をくりぬいて作った運	14
20210917 11:16:49		6	2.8	しのぼせて	運や人が人に気づかれな	8
20210917 11:17:01		1	1.6	運つと、	運つと、どるぼつ。	1
20210917 11:17:29		3	2.2	秘訣	コロボの神聖の真訣	3
20210917 11:17:31		4	2.6	おまじ	私の心を運本がうける	1
20210917 11:17:36		1	1.3	運地蔵	アブラナの種、しぼつて	9
20210917 11:17:53		1	1.7	かじ屋	色々な運本をつくるさ。	1

実践者の手ごたえ

学級全体で行うことで、辞書引きが苦手な児童も得意な児童も、それぞれのペースに応じて、学習活動に取り組むことができた。

児童生徒・保護者等の主な反応や声

(児童の反応)
個人で意味調べを実施するときに比べて主体的に取り組む姿が見られた。学級全体で行うことで、短時間で多くの言葉の意味調べが完成することに驚いていた。